

3年2組 国語科学習指導案

授業者 谷 絵里子

授業② 3年2組教室

1 単元名 伝えたい！民話のおもしろさを「民話おもしろかつたワ」で紹介しよう

教材名 ～「三年とうげ」他～

2 単元のねらい

・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 【思考力、判断力、表現力等】C読むこと（1）エ

・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C読むこと（1）オ

・引用のしかたを理解し使うことができる。 【知識及び技能】（2）情報の扱い方に関する事項 イ

・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。

【知識及び技能】（3）我が国の言語文化に関する事項 オ

・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①引用のしかたを理解し使っている。（（2）イ） ②幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 （（3）オ）	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C（1）エ） ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C（1）オ）	①進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉え、感想や考えを「民話おもしろかつたワ」にまとめ、伝えようとしている。

4 本単元で重点的に育成を図る資質・能力とその手立て

挑戦心	①どのようにすれば解決できるか、考えている。 ②課題解決のためにいろいろな方法を試している。 ③あきらめず、やりきろうとしている。
伝える力	①相手や目的に合わせて、表現の工夫（図・表・グラフ・式・写真・動画など）をしている。 ②考えの理由や根拠を説明している。 ③相手に自分の考えが伝わったか確認している。 ④相手や場面に合わせて言葉を選ぶようにしている。
情報を収集・整理・分析する力	①目的に合った情報を集めている。 ②適切な方法で情報を集めている。 ③考えるための技法（比較する・分類する・関連付ける）を適切に選択している。 ④集めた情報の共通点・相違点を見つけることができる。

5 指導にあたって

(1) 教材観

本教材は、朝鮮半島に伝わる民話である。民話独特の語り口による楽しいリズムがあり、農村の雰囲気を表現した挿絵とともに想像を広げることができる。また、機転で不幸を幸せに転じたとんち話の側面もあり、人々のおおらかさが時代を超えて伝わってくる。発想の転換から、昔の人々の生きる知恵やたくましさなどを楽しく学び、感じ取らせていきたい。三年とうげは、「ため息の出るほど」よい眺めの峠でありながら人々が恐れるような言い伝えがあるという設定は、読み手を惹き付ける。登場人物の人物像や情景描写、言いつたえ、歌などをたどりながら人々の感じ方や生き方を味わい、起承転結の文章構成で登場人物の変化など叙述を基に捉えていきたい。

(2) 児童観

これまで、「春風をたどって」や「まいごのかぎ」で、叙述を基に登場人物の気持ちを考えて読むことや、登場人物の気持ちがどのように変化したかを読むことに取り組んできた。「ちいちゃんのかげおくり」では、心がグッと動いたところを伝えようという言語活動で、教材文で場面を比べて読むことで心がグッと動いたところを見付けることができた。だが、見付けることはできても叙述を基にしていなかったり動いた理由を見つけられなかったりする児童もいた。

挑戦心について、低学年のころから言語活動を設定し、学習計画をたてて見通しをもって学習することを経験している。だが、何を読み交流すれば解決できるかを考え試すことが充分ではない。

伝える力について、導入時に教師モデルを提示し、これまでの学習と比較して課題を見付ける学習活動は経験している。課題に対して自分の考えをもつことはできるが、叙述を基に根拠を明確に伝えたり考えを筋道立てて表現したりすることは難しく、相手に伝わったか自信がもてないときもある。

情報を収集・整理・分析する力について、全文シートを活用して、文章構成や事柄の順序を捉え伝えたいところを叙述から見付けることはできる。だが、考えの共通点や相違点を見つけ、そこから自分の読みを深めることにはつながっていない。

(3) 指導観

本単元では、登場人物の気持ちや様子の変化などを交流して共通点や相違点に気づき、感想や考えをもつ力を付けたいと考える。そのために世界の民話を読み、おもしろさとその理由を「民話おもしろかつタワー」にまとめ、おもしろさを紹介する言語活動に取り組む。

挑戦心について、並行読書で民話のおもしろさを知ることで、それを紹介したいという意欲へつなげる。並行読書材では、機転がきく話やどんでん返しがある話といった特徴が分かりやすいものを選び、おもしろさにも、すごい・びっくり・かしこい・なるほどという思いがあることに気付かせる。口承文学である民話の魅力に触れ、おもしろさの幅を広げ共有していきたい。

伝える力について、叙述を根拠とする良さを感じられるようにする。「民話おもしろかつタワー」では、おもしろいところとそのわけを書く。わけでは二つの場面を選び、その変化のおもしろさについて表現する。たとえ同じ場面を選んでも、考えも同じかは分からないだろう。そこで交流時に叙述を用いてわけを伝える。叙述を基に伝えることでそれが考えの根拠となり、個々の読み方や感じ方が異なることを実感させ、良さへつなげていきたい。

情報を収集・整理・分析する力について、理由を明確にするために、誰がどこをおもしろいと感じたかを見えるようにし交流相手を選べるようにし、目的に合った情報を集められるようにする。場面を比べ叙述を結び付けること、登場人物の変化に注目することを価値づけていき、考えの共通点や相違点に着目させ、個々が様々なところにおもしろさを感じたことを気付かせていきたい。

6 単元計画 (総時数 7 時間+課外)

次	時	学習活動	・9つの資質能力の育成に關する手立て	評価
一	1 ・ 課 外	<どんな学習をするのかな> 強いトラが、干し柿をこわがるなんてびっくりしておもしろかったよ。他の民話も読みたい。民話のおもしろさを紹介したいな。 《民話のおもしろさを「民話おもしろかつター」で紹介しよう》	・民話を読み、教師モデルを提示して言語活動を設定する。(挑①)	知②
二	1 ・ 2 ・ 3	<どんなお話かな> 三年とうげで転んでしまったおじいさんが、トルトリの話を聞いて自分から転ぶ話だよ。自分が紹介したい民話のあらすじをたしかめよう。 <どこがおもしろいかな> おもしろさのわけを伝えるときには、前とのちがいを説明すると、相手に伝わりそうだよ。 <どんなおもしろさがあるかな> 本時 気持ちや様子、行動など、登場人物の変化がおもしろさにつながっていたよ。いろいろなおもしろさがあるって分かった。他の民話にはどんなおもしろさがあるかな。	・全文シートを活用し、文章構成をたしかめる。(情②) ・ペア交流で、叙述を基に説明しているところを広める。(伝②) ・マトリックス表を見て、必要な情報を得る相手を決める。(情①) ・おもしろさを分類し、考えの共通点や相違点を見つけられるようにする。(情④)	思① 思②
三	1	<選んだ民話のおもしろさをまとめよう> 選んだ民話も、場面を比べて変化を見つけたり、その変化のきっかけを関連付けたりして、おもしろいわけをはっきりさせることができた。民話おもしろかつターにまとめたよ。	・学んだ読み方を自分の読み方につなげ、目的に合った情報を収集できるようにする。(情①)	知①
	2	<民話のおもしろさを紹介しよう> 登場人物の変化を紹介することで、なぜおもしろいかのわけをはっきりさせて紹介できたよ。		主①

7 本時の学習 第二次中 3 時

(1) 本時のねらい

「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C読むこと (1) オ

(2) 学習の展開

時	主な学習活動と子どもの思考の流れ ○教師の発問 ・ 予想される子どもの思考	・指導 ◎評価 ★9つの資質能力の育成に関わる手立て
5	1. 課題をつかむ ・ おもしろいところを見つけることができたよ。 ・ みんなが見つけたおもしろさを知りたいな。 <どんなおもしろさがあるかな>	・ 学習履歴を活用してふり返り 本時の見通しをもつことができるようにする。
25	2. 考えをもち、伝え合う ・ 同じ場面を選んでいる人とペア交流しよう。 ・ 同じ場面でも、根拠が違ふよ。 ・ おもしろいところは同じなのに、わけが違ふ。聞いてよかったな。 ・ 違ふ場面を選んだ人と交流すると、違ふおもしろさを話していたよ。	★マトリックス表を見て、必要な情報を得る伝える相手を決める。(伝①) ・ 叙述を基に考えと理由を見つけられるように促す。 ★ペア交流で、叙述を基に説明しているところを広める。(伝②)
10	3. 交流したことを全体で確かめる ○見つけたおもしろさは。 ・ おじいさんが転ぶ様子が二場面と四場面では違っておもしろかったよ。三場面でのトルトリの話があったからだ。 ・ トルトリってかしこいな。自分だったら言えるかな。 ・ 同じ場面を選んでいても、おじいさんの気持ちが変わってびっくりしたという人と、転ぶ様子が違ってびっくりしたと話す人がいたよ。 ・ 二場面の言い伝えと四場面の歌が違いふしぎだと思った。 ・ 一場面でためいきがでる峠とかかかっているのに、二場面の言い伝えがこわかった。美しいところなのに。 ・ 変化を見つけて、おもしろさを感じた人が多かったよ。	★おもしろさを分類し、考えの共通点や相違点を見つけられるようにする。(情④) ・ 交流して気づいたことをふり返り、場面を比べて読む方法や場面を関連付けて読む方法で考えをもてたことに気付かせる。
5	4. 本時の学習をふり返る 気持ちや様子、行動など、登場人物の変化がおもしろさにつながっていたよ。いろいろなおもしろさがあるって分かった。他の民話にはどんなおもしろさがあるかな。 ○どんな方法で学習をすすめることができたかな。 ・ 変化は、場面を比べたり関連付けたりして読むと分かる。 ・ これからも場面を比べたり関連付けたりして読みたいな。 ・ 自分の選んだ民話でも、おもしろさをはっきりさせて、民話おもしろかつたわーにまとめていきたいよ。	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)